

# 2024年3月期 第1四半期 決算説明資料

2023年8月8日  
ステラケミファ株式会社  
(証券コード：4109)

## 【決算説明資料】

---

- ・ 業績ハイライト P. 3
- ・ 決算概要 P. 4 – 11
- ・ 業績予想 P. 12 – 14
- ・ 株主還元 P. 15 – 16

## 【参考資料（会社概要・事業紹介）】

---

- ・ 会社概要 P. 18
- ・ 主要子会社および関連会社 P. 19
- ・ 事業紹介 P. 20 – 39

## 【2024年3月期1Q実績】

- ◆ 半導体部門は、販売価格は上昇も、市況悪化に伴い出荷量が前年同期と比較して減少
- ◆ エネルギー部門や工業用フッ酸部門等も、出荷量が前年同期と比較して減少
- ◆ 主要原材料である無水フッ化水素酸において、中国市況価格は軟化も、円安進行や中国以外からの調達拡大の取り組みにより、前年同期と概ね同水準で着地

## 【通期見通し】

- ◆ 半導体部門は市況回復時期が不透明のため、厳しい状況が続く見通し
- ◆ 無水フッ化水素酸の価格や為替動向等、不確定要素の業績への影響を注視

# 決算概要



(単位：百万円)	2023年3月期 1Q	2024年3月期 1Q	増減	増減率(%)
売上高	9,764	7,298	△2,466	△25.3
売上総利益	2,163	1,546	△616	△28.5
営業利益	1,291	582	△709	△54.9
経常利益	1,783	865	△917	△51.5
親会社株主に 帰属する四半期純利益	1,295	694	△601	△46.4
1株当たり 四半期純利益(円)	103.55	57.79		
設備投資額	1,026	763	△263	△25.6
減価償却費	663	682	19	2.9
研究開発費	123	179	56	45.7

# セグメント別 売上高・営業利益

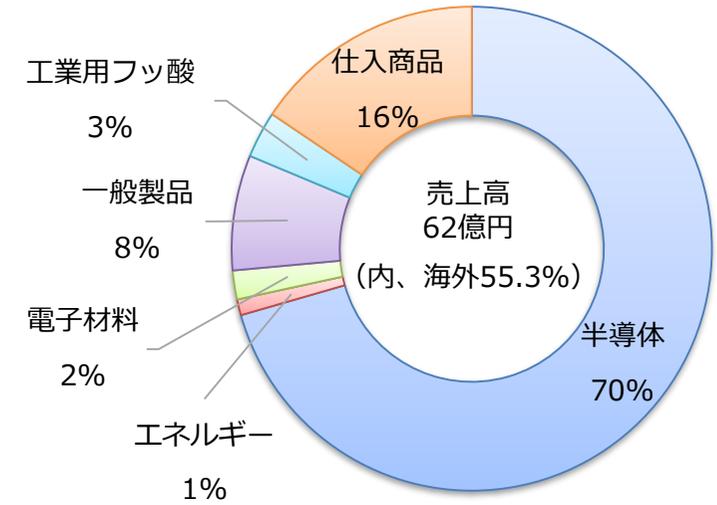
(単位：百万円)	売上高				営業利益			
	2023年3月期 1Q	2024年3月期 1Q	増減		2023年3月期 1Q	2024年3月期 1Q	増減	
			金額	%			金額	%
高純度薬品	8,577	6,217	△2,360	△27.5	1,135	518	△616	△54.3
運輸	1,146	1,041	△105	△9.2	154	67	△87	△56.4
その他	40	39	△0	△0.4	3	△1	△4	-
消去又は 全社	-	-	-	-	△2	△2	△0	-
合計	9,764	7,298	△2,466	△25.3	1,291	582	△709	△54.9

# 高純度薬品事業 売上高（内訳）

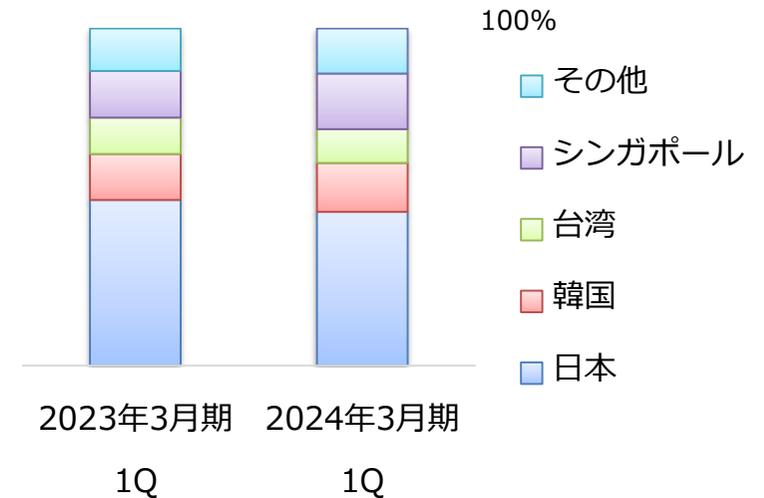


(単位：百万円)	2023年3月期 1Q	2024年3月期 1Q	増減	増減率 (%)
半導体	4,738	4,387	△351	△7.4
エネルギー	527	66	△460	△87.5
電子材料	297	119	△177	△59.7
一般製品	844	478	△366	△43.3
工業用フッ酸	704	193	△510	△72.5
仕入商品	1,465	971	△494	△33.7
合計	8,577	6,217	△2,360	△27.5

2024年3月期1Q 売上高構成比



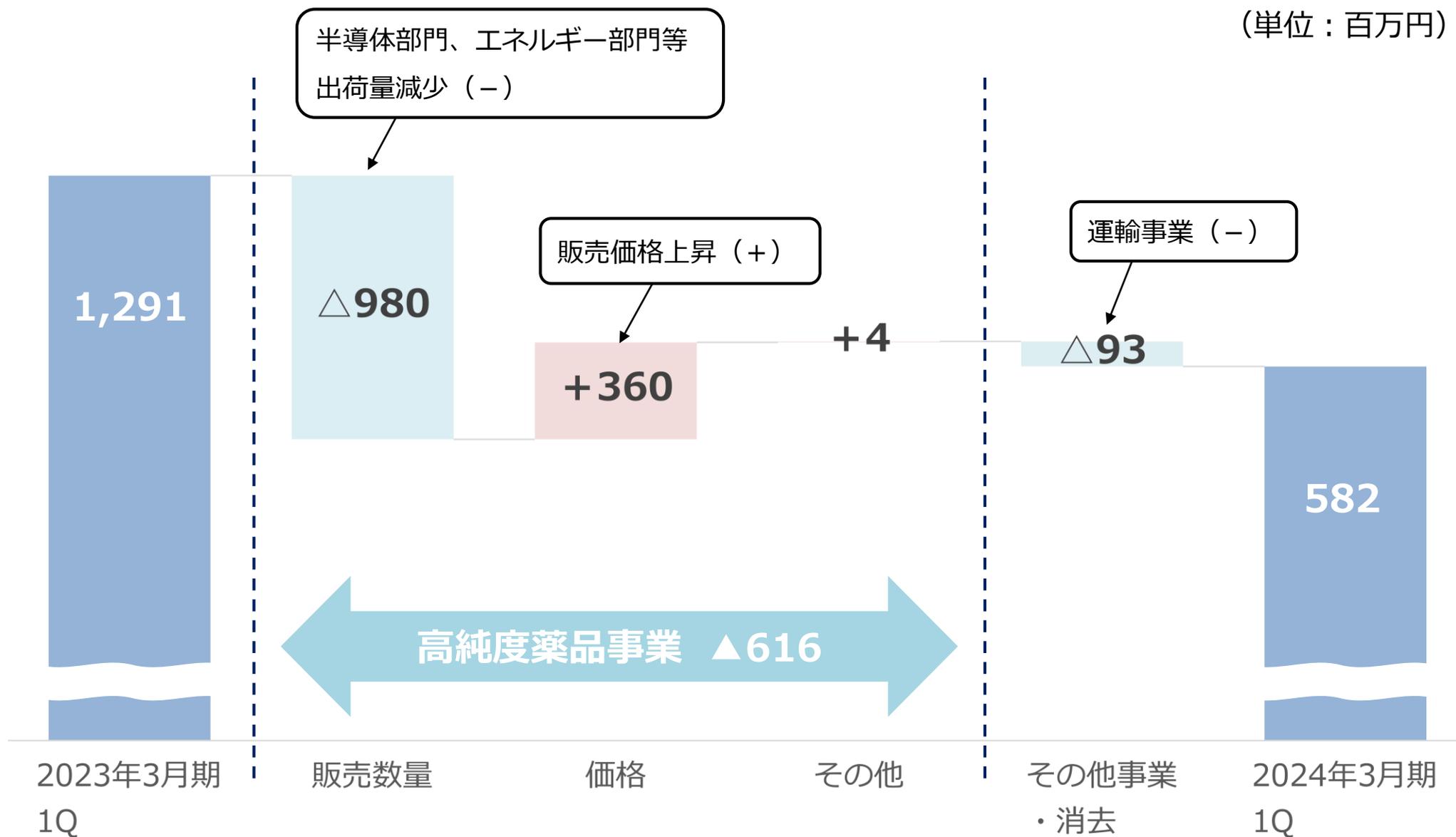
半導体 国別出荷割合



# 営業利益増減分析（前年同期比）

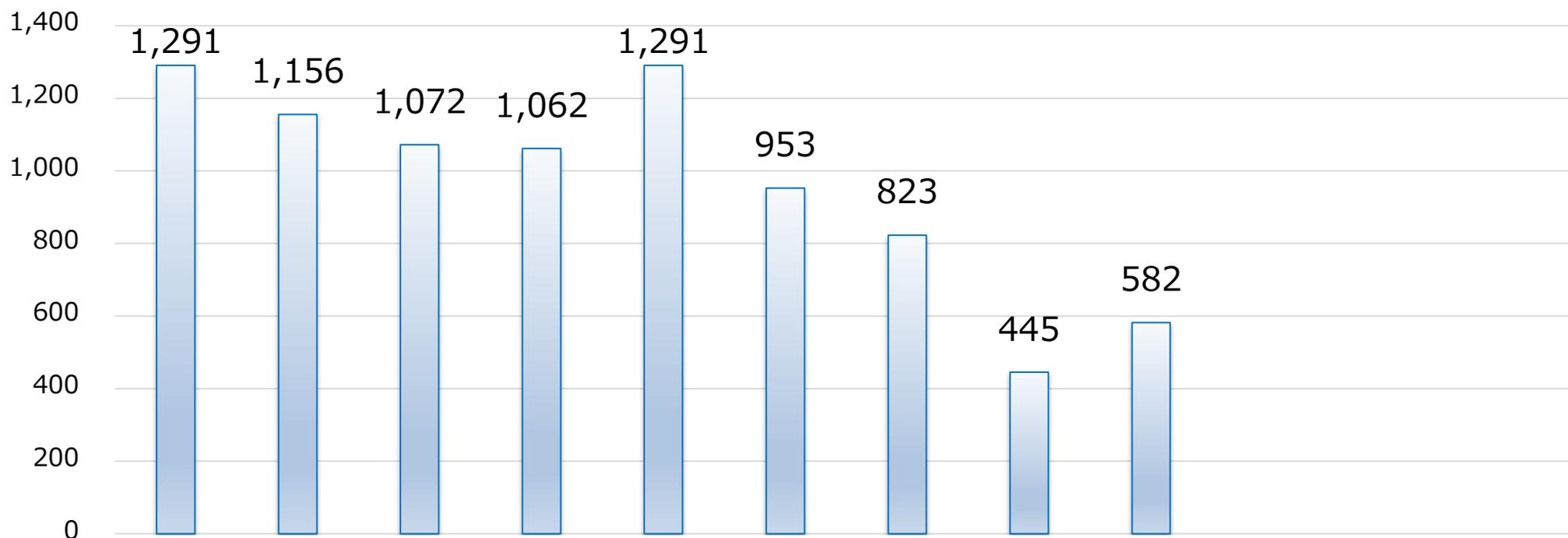


(単位：百万円)



# 営業利益推移

(単位：百万円)



	2022年3月期				2023年3月期				2024年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	8,896	9,212	9,015	10,171	9,764	9,854	8,651	7,112	7,298			
営業利益	1,291	1,156	1,072	1,062	1,291	953	823	445	582			
営業利益率	14.5%	12.5%	11.9%	10.4%	13.2%	9.7%	9.5%	6.3%	8.0%			

# フッ化水素酸「輸入貿易統計価格（中国）」推移



( 円/kg )

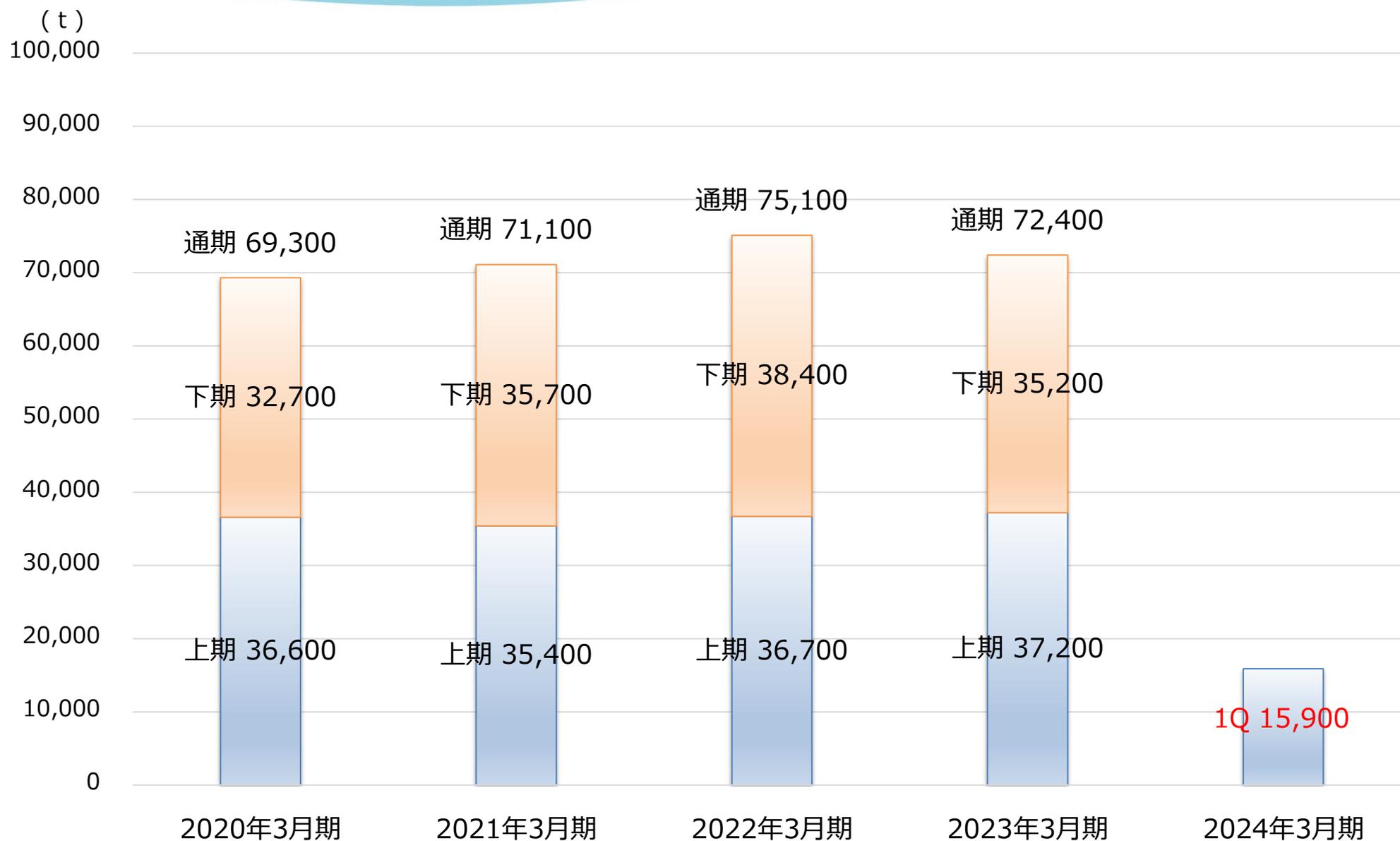
(注) 弊社の購入価格とは異なります。価格変動の参考としてご覧ください。



(単位：円/kg)	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 1Q
平均価格	186	168	225	274	259

出所：財務省「財務省 貿易統計」(<http://www.customs.go.jp/toukei/info/>)より弊社作成

# 高純度フッ化水素酸（半導体） 出荷量推移



# 貸借対照表

(単位：百万円)	2023年3月期 期末	2024年3月期 1Q	増減	増減率(%)
<b>資産</b>	<b>55,471</b>	<b>56,548</b>	<b>1,076</b>	<b>1.9</b>
現預金	15,097	16,815	1,717	11.4
営業債権	7,110	6,606	△504	△7.1
棚卸資産	5,496	5,564	67	1.2
有形固定資産	22,625	22,575	△49	△0.2
無形固定資産	261	231	△29	△11.2
<b>負債</b>	<b>12,309</b>	<b>12,834</b>	<b>524</b>	<b>4.3</b>
営業債務	3,590	2,842	△748	△20.8
有利子負債	4,138	5,112	973	23.5
<b>純資産</b>	<b>43,162</b>	<b>43,714</b>	<b>551</b>	<b>1.3</b>
自己資本	42,875	43,429	554	1.3
<b>負債純資産</b>	<b>55,471</b>	<b>56,548</b>	<b>1,076</b>	<b>1.9</b>

# 業績予想

(単位：百万円)	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	増減	増減率(%)
売上高	35,382	32,300	△3,082	△8.7
営業利益	3,514	2,800	△714	△20.3
経常利益	4,347	2,450	△1,897	△43.7
親会社株主に 帰属する当期純利益	2,280	1,650	△630	△27.7

1株当たり 当期純利益(円)	186.03	137.33	△48.70
配当金額(円)	60	(※) 60	—
ROE(%)	5.4	3.8	△1.6

※ 中間配当のみ  
(期末配当未定)

設備投資額	5,408	4,400	△1,008	△18.6
減価償却費	2,593	2,750	156	6.1
研究開発費	660	750	89	13.5

# セグメント別 売上高・営業利益予想



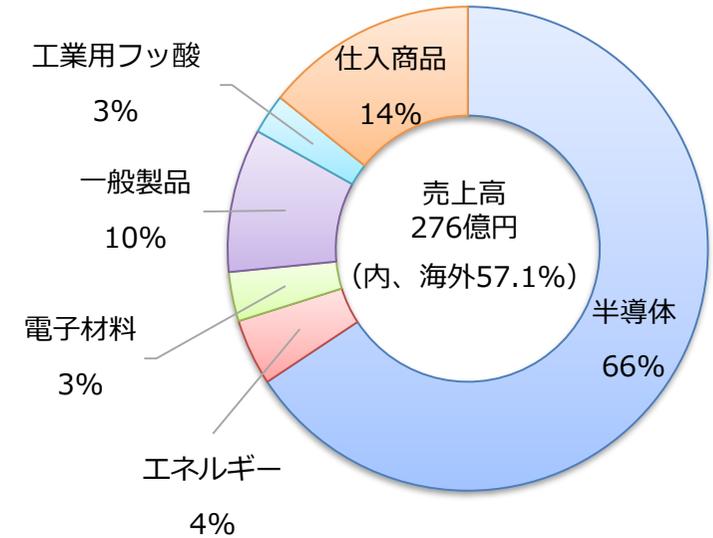
(単位：百万円)	売上高				営業利益			
	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	増減		2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	増減	
			金額	%			金額	%
高純度薬品	30,707	27,690	△3,017	△9.8	2,961	2,330	△631	△21.3
運輸	4,504	4,430	△74	△1.7	533	450	△83	△15.7
その他	170	180	9	5.5	30	30	△0	△2.5
消去又は 全社	—	—	—	—	△11	△10	1	—
合計	35,382	32,300	△3,082	△8.7	3,514	2,800	△714	△20.3

# 高純度薬品事業 売上高予想（内訳）

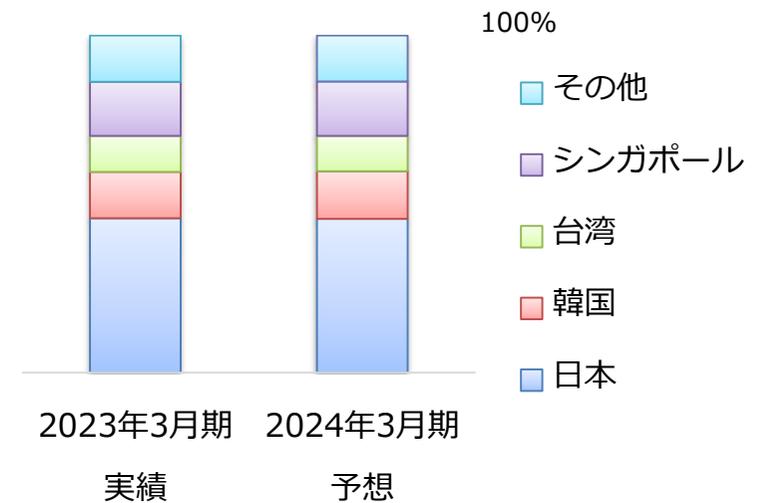


(単位：百万円)	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	増減	増減率 (%)
半導体	19,049	18,200	△849	△4.5
エネルギー	996	1,230	233	23.4
電子材料	1,032	910	△122	△11.8
一般製品	2,514	2,660	145	5.8
工業用フッ酸	1,739	740	△999	△57.5
仕入商品	5,375	3,950	△1,425	△26.5
合計	30,707	27,690	△3,017	△9.8

2024年3月期予想 売上高構成比



半導体 国別出荷割合



## 新たな株主還元方針（2023/5/9 公表）

当社は、財務状況、利益水準などを総合的に勘案したうえで、安定的かつ継続的に配当を行うことが、経営上の重要な課題であると認識しています。

また、成長投資と株主還元のバランスに加え、資本効率の改善を図るため、株主還元については、適用期間（2024年3月期・2025年3月期）を定めて、**総還元性向 100%** を目標といたします。

内部留保金は、設備投資、研究開発投資などに充当し、今後の事業展開に積極的に活用し、企業価値を高めるよう努力いたします。

配当実績および予想につきましては次頁に記載しております。

# 株主還元

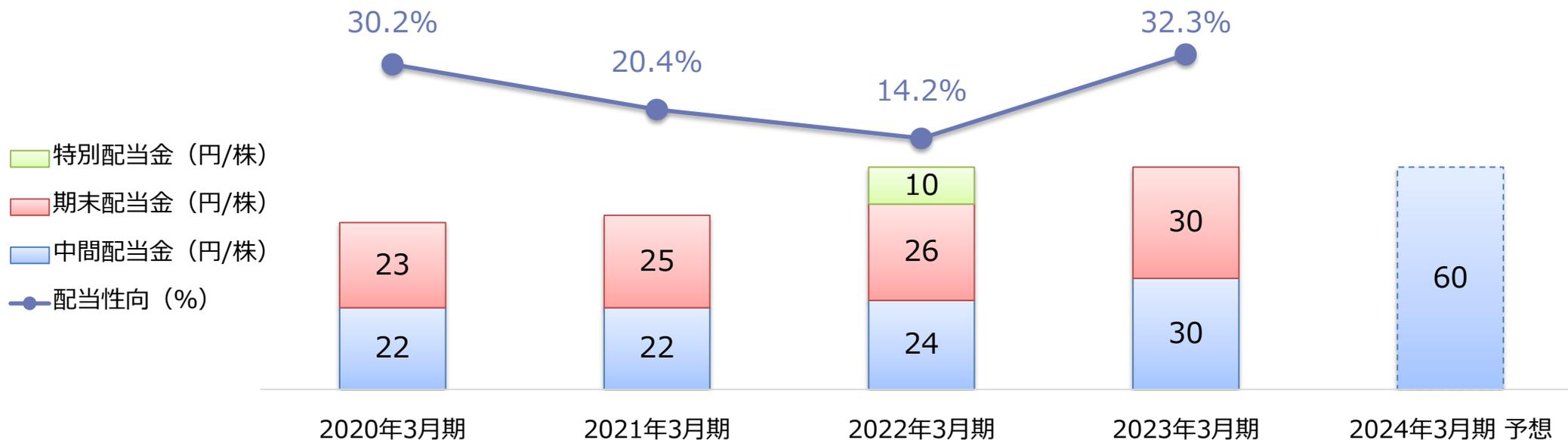
## ◆ 2023年3月期

- 年間配当 60円/株
- 50万株（13.5億円）の自己株式取得を実施

## ◆ 2024年3月期

- 中間配当予想 60円/株

※ 期末配当につきましては、今後の業績見通しや株主還元方法の検討等を踏まえて判断することとしているため、未定であります。



# 参考資料

(会社概要・事業紹介)

# 会社概要



(2023年6月30日 現在)

商号	ステラケミファ株式会社 (STELLA CHEMIFA CORPORATION)	
所在地	大阪府大阪府中央区伏見町四丁目1番1号 明治安田生命大阪御堂筋ビル10階	
創業 / 設立	1916 (大正5) 年2月 / 1944 (昭和19) 年2月	
資本金	48億2,978万2,512円	
代表者	代表取締役社長 橋本 亜希 代表取締役専務 (生産統括) 坂 喜代憲	
URL	<a href="https://www.stella-chemifa.co.jp/">https://www.stella-chemifa.co.jp/</a>	
従業員数	294名	
営業部拠点	大阪営業部 (大阪府大阪府中央区) 東京営業部 (東京都千代田区)	
生産拠点	三宝工場 (大阪府堺市堺区) 泉工場 (大阪府泉大津市) 北九州工場 (福岡県北九州市八幡西区)	
研究開発拠点	次世代材料研究棟 (大阪府堺市堺区 : 三宝工場敷地内)	

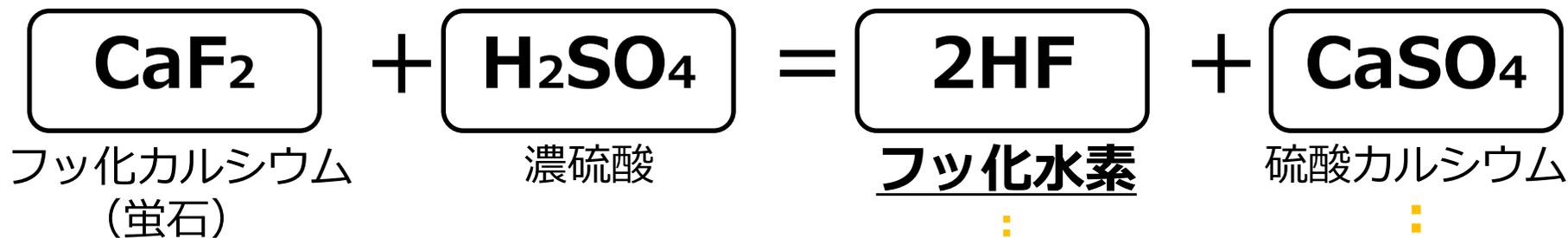
## 国内（3社）

運輸事業	ブルーエクスプレス株式会社	大阪府 堺市 堺区
その他事業	ブルーオートトラスト株式会社	大阪府 堺市 堺区
メディカル事業	ステラファーマ株式会社	大阪府 大阪市 中央区

## 海外（6社）

高純度薬品事業	STELLA CHEMIFA SINGAPORE PTE LTD	シンガポール
運輸事業	STELLA EXPRESS (SINGAPORE) PTE LTD	シンガポール
高純度薬品事業	星青国際貿易（上海）有限公司	中国
運輸事業	青星国際貨物運輸代理（上海）有限公司	中国
高純度薬品事業	浙江瑞星フッ化工業有限公司	中国
高純度薬品事業	衢州北斗星化学新材料有限公司	中国

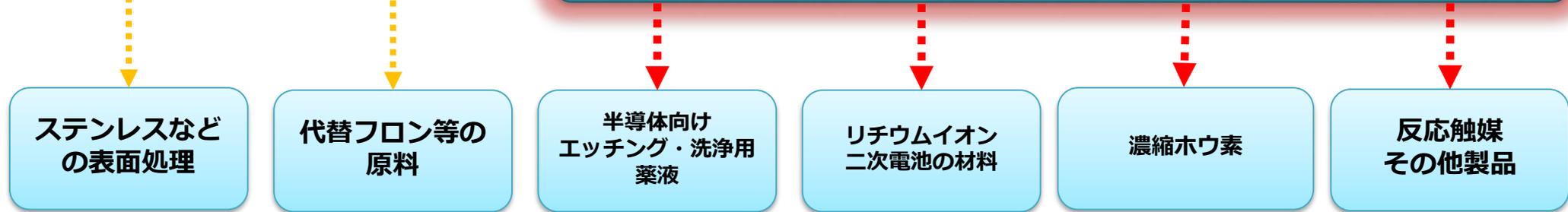
## フッ化水素の製造とその用途



※蛍石は大きく5つの純度グレードに分けられており  
半導体用途には97%以上の純度を持つ高品位な  
蛍石が求められる。



弊社の独自技術による反応・精製



# 事業紹介



## 高純度薬品事業

半 導 体	・半導体や液晶パネルの製造工程におけるエッチング・洗浄用薬液の製造・販売
エ ネ ル ギ ー	・原子力関連施設やがん治療（BNCT）で使われる濃縮ホウ素（ボロン10）の製造・販売 ・リチウムイオン二次電池の性能を向上させる添加剤の製造・販売
電 子 材 料	・タンタルコンデンサーで使われるタンタル製造助剤の製造・販売 ・カメラ・ステッパー用レンズ原料などの製造・販売 ・少量生産段階の研究開発品の製造・販売 ・LEDに使われる蛍光体製造用原料や蛍光体の製造・販売
一 般 製 品	・様々な化学品や医薬品の中間体製造で使用する触媒の製造・販売 ・虫歯や歯肉炎の予防効果を持たせるための歯磨き用添加剤の製造・販売 ・その他のフッ素化合物の製造・販売
工 業 用 フ ッ 酸	・代替フロン・フッ素樹脂の原料となる無水フッ化水素酸の製造・販売 ・ステンレスの酸洗浄や液晶パネルの薄化などに使用されるフッ酸の製造・販売
仕 入 商 品	・仕入商品の販売

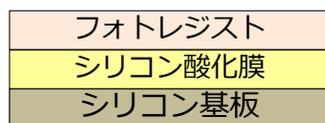
## 超高純度化技術

- 超精製技術、超清浄技術により、1ppt ( $1 \times 10^{-12}$ ) 以下の不純物レベルをコントロール
- 超高集積回路に対応できる超高純度薬液を量産化

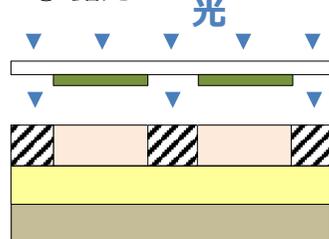
超高純度フッ化水素酸	<ul style="list-style-type: none"> <li>フッ化水素酸(HF)は、シリコン酸化膜をエッチング除去できる唯一の薬液</li> <li>半導体製造プロセスには不可欠で超高純度が要求される薬液</li> <li>特に希フッ酸は、数多くの半導体プロセスで使用</li> </ul>
超高純度バッファードフッ酸	<ul style="list-style-type: none"> <li>フッ化水素酸 (HF) とフッ化アンモニウム (<math>\text{NH}_4\text{F}</math>) の混合水溶液</li> <li>主に絶縁膜のエッチングや洗浄等の工程で使用</li> <li>十数 Å/minから数千 Å/minの広範囲なエッチレートを持つ薬液が製造可能</li> </ul>

## 使用例 (フォトリソグラフィ工程)

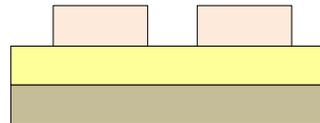
① シリコンウエハに  
フォトレジスト塗布  
(加熱乾燥)



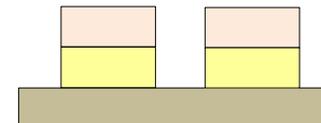
② 露光



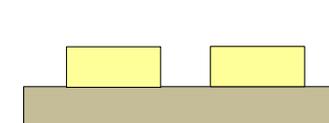
③ 現像



④ エッチング  
(フッ酸系薬液でシリコン  
酸化膜を溶かす)



⑤ フォトレジスト剥離



## 半導体用高純度フッ化水素酸の生産能力

北九州工場



(福岡県北九州市)

**30,000 t / 年産**

三宝工場



(大阪府堺市)

**65,000 t / 年産**

STELLA CHEMIFA  
SINGAPORE



(シンガポール)

**10,000 t / 年産**

**105,000 t / 年産**

フッ素化合物の総合メーカーとして、  
製造から充填まですべて自社技術で行っています。



濃縮プラント  
(大阪府泉大津市)

## 濃縮ホウ素（ボロン10）とその特徴

- 天然ホウ素（ボロン）はボロン10(20%)・ボロン11(80%)が同位体として存在
- ボロン10を99%以上に濃縮する技術を開発
- 濃縮ホウ素の大量生産技術を国内で初めて確立(2000年)
- ボロン10は、中性子吸収能力が極めて高い性質があり、濃度を高めることでさらにその吸収能力が向上する

## 生産能力

品目		生産能力
濃縮ホウ素	$^{10}\text{B}$	6 t / 年産

(※次の品目に換算した場合)

濃縮ホウ酸	$\text{H}_3^{10}\text{BO}_3$	36 t / 年産
濃縮ホウフッ化カリウム	$\text{K}^{10}\text{BF}_4$	75 t / 年産

## 濃縮ホウ素化合物の用途

- 一次冷却水に溶かし込んで、加圧水型原子炉の余剰反応度制御
- 使用済み核燃料の輸送・貯蔵容器の中性子吸収材
- 原子炉の制御棒の材料や、使用済み核燃料プールのラック材
- 特定重大事故等対処設備の水源
- がん治療薬剤の原料（BNCT：ホウ素中性子捕捉療法）

## 濃縮ホウ酸の利用メリット

- ① 原子炉内の腐食環境の改善  
天然品と比較して、1/5で必要<sup>10</sup>B濃度が確保できる。  
低濃度での運転が可能となり、設備での腐食が低減できる。
- ② ホウ酸水の維持保管コスト低減  
ホウ酸水の溶解維持のため加熱・保温が必要。  
濃縮ホウ酸であれば濃度を下げることが可能であり、保温問題が低減される。  
また、貯蔵タンクも小さくできる。
- ③ より確実に  
緊急停止時にはより確実な制御が可能であり、また、ホウ酸は人体や環境に有害であるため、全体のホウ酸量を低減できることはメリットである。

## 添加剤

- リチウムイオン二次電池を高性能化する電解液用添加剤
- 高温耐久性・高伝導性・高容量化・低抵抗・難燃性

## 六フッ化リン酸リチウム

- リチウムイオン二次電池用高純度電解質  
※中国の関連会社（衢州北斗星化学新材料有限公司）にて製造・販売

### リチウムイオン二次電池構成材料例

添加剤

正極・負極

セパレーター

集電体

電解質

バインダー

保護用IC

PTC素子



泉工場製造棟（大阪府泉大津市）



衢州北斗星化学新材料有限公司  
（中国）

## フッ化スズ

- 2017年  
FDAによるOTC虫歯予防薬の原薬である『フッ化スズ』のGMP査察が完了し、正式な公認を取得。
- 2018年  
GMP対応製品として『フッ化スズ』の販売を開始。



泉工場製造棟（大阪府泉大津市）

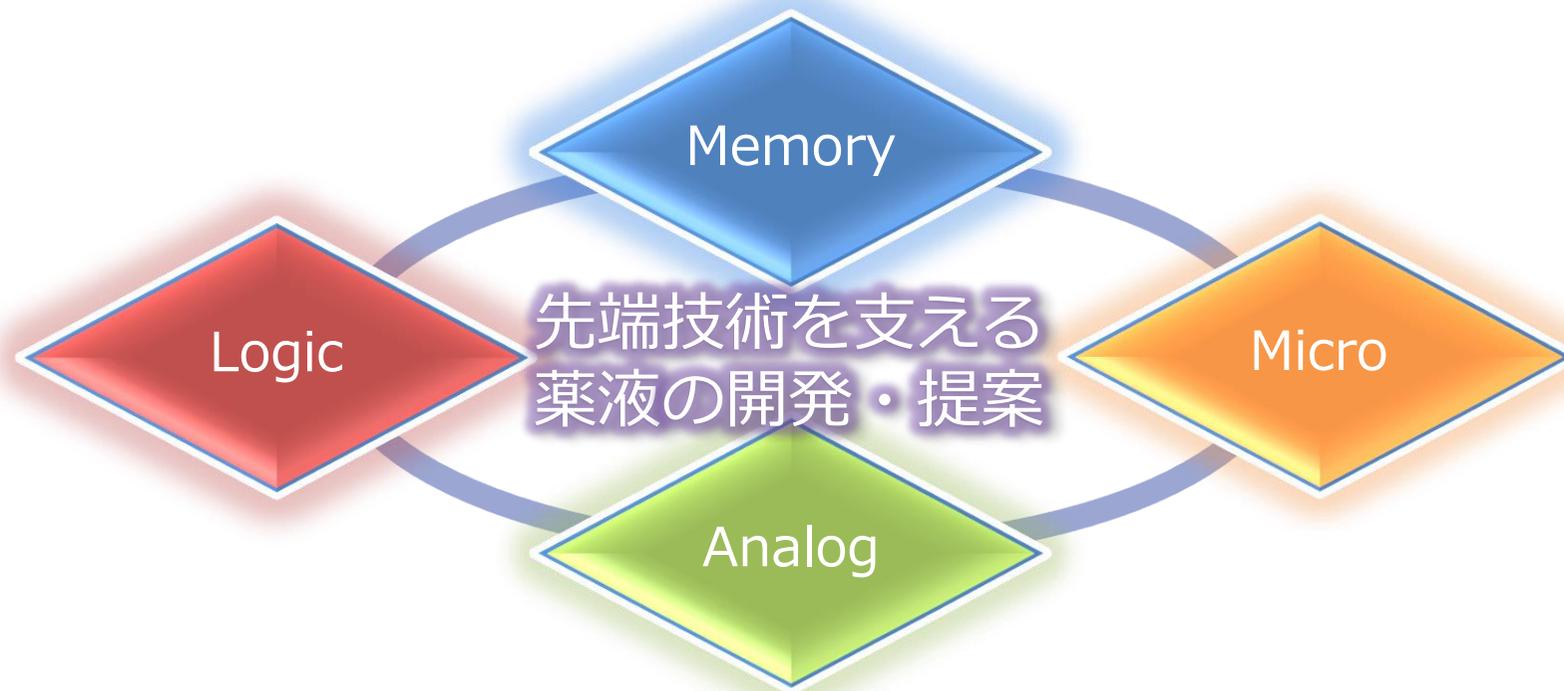


※歯の健康や美観への関心が強い欧米向けを中心に、  
需要を見込んでいます。

⇒ 歯磨き用以外の新たな用途も開拓中（例：蹄殺菌）

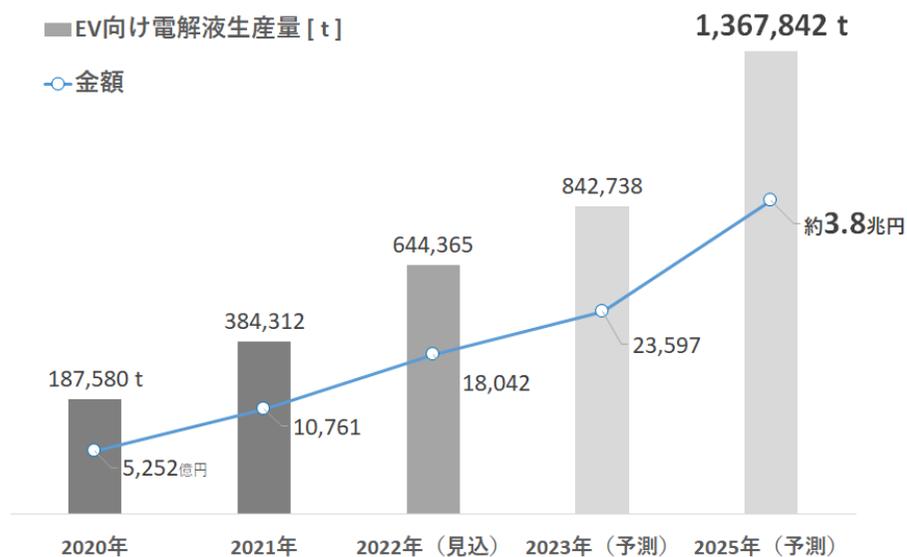
## 半導体用薬液関連

- 半導体デバイスの平面的な微細化や3次元化による半導体高集積化の進展に伴い、ウェットエッチングおよび洗浄で使用されるフッ化水素酸やバッファードフッ酸には、よりいっそうの機能性と品位の両立が求められる。
- 特にロジックやメモリーの半導体高集積化を見据え、先端技術に適応する機能性薬液の開発、さらに、より小さいサイズの粒子保証に向けた取り組みを進める。



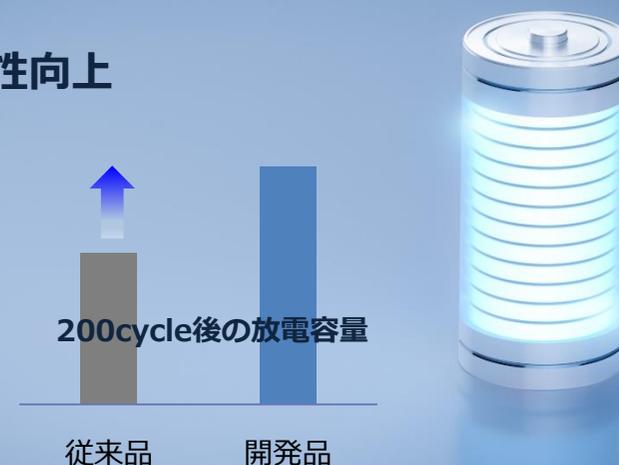
## 蓄電デバイス材料関連

- リチウムイオン二次電池（LiB）の高容量化に向けた電解液用添加剤の開発  
開発のポイント
  - ✓ 高容量化が期待されるNi系正極材料への適用
  - ✓ Ni系正極材料の課題である高電圧下でのサイクル特性、高温での劣化抑制
- ポストLiBと謳われる次世代二次電池用材料の開発推進



### LiB電解液用添加剤（開発品）の特徴

- ✓ サイクル特性向上
- ✓ 抵抗低減
- ✓ 高温耐性



\* (株)富士経済 2022 エネルギー・大型二次電池・材料の将来展望  
 <電動自動車・車載電池分野編>に基づく

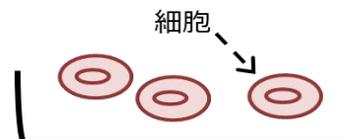
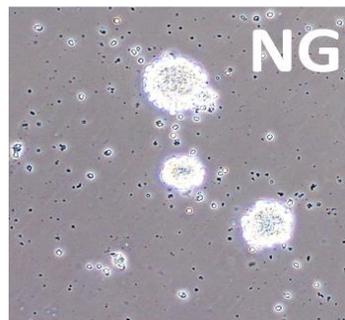
## 細胞培養容器

- 高純度薬品事業で培ってきた当社独自のフッ素による表面処理技術を応用した細胞培養容器を開発
- 研究機関や製薬会社にサンプル提供を開始



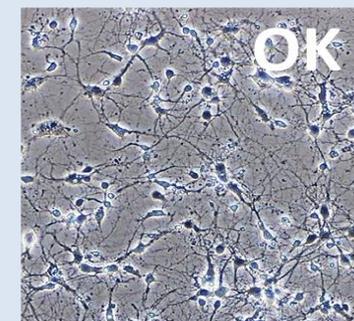
開発した細胞培養容器

一般販売品



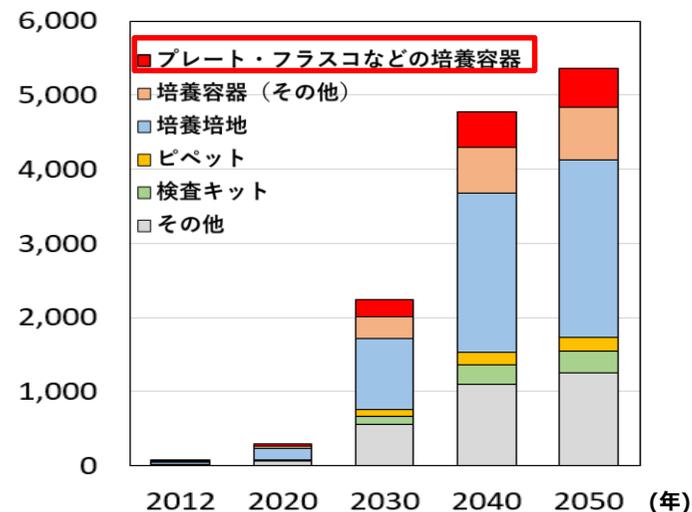
細胞が接着しない

当社開発品



細胞が接着して増殖する  
**化学的に均一かつ安定的な  
 培養下地を形成**

(億円) 再生医療周辺産業 消耗品の将来市場規模予測 (国内)



経済産業省「再生医療の周辺産業の将来市場規模予測」を改変

**市場規模 : 35億円(2020年) ⇒ 530億円(2050年)** 30

## 蛍光体関連材料

- タブレット端末や液晶TVにミニLEDバックライトLCDが搭載され、本格的なミニLEDの普及へ
- 車載ディスプレイ用途にも蛍光体フィルムの採用が決まるなど、量子ドットよりも安定性に優れる蛍光体のメリットを活かしたニーズ拡大が期待
- 照明向けもハイエンドモデルにはフッ化物の蛍光体を採用する流れが加速

フッ化物蛍光体  
および  
フッ化物蛍光体製造用材料



<デジタルサイネージ>



<ディスプレイ>



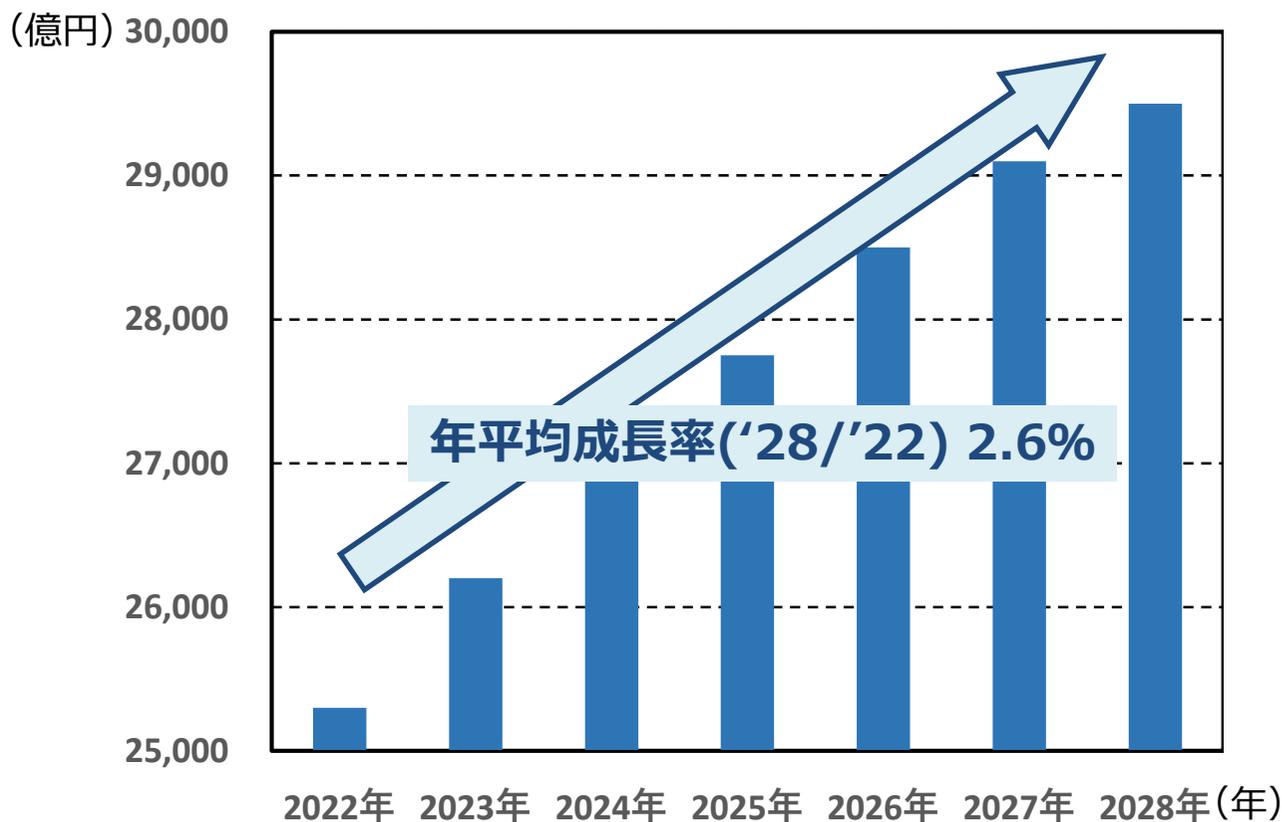
<LED照明>



- 一部製品で顧客採用も進み、さらなる採用拡大に向けた研究開発を推進
- 用途に合わせて機能性を付与し、高効率・高寿命のフッ化物蛍光体関連材料の開発を推進

## プリント基板関連材料（低誘電率材料）

- 高周波向け通信機器用基板材料に使われている樹脂などへの添加物（フィラー）として使用



初期の5G

機能強化された5G

Beyond5G

図. フレキシブルプリント配線板の市場規模推移・見込みと予測 (富士キメラ総研調べ)

機能強化された5G、Beyond 5Gに向けた高機能フィラーの開発



開発品高機能フィラー(SHFシリーズ)



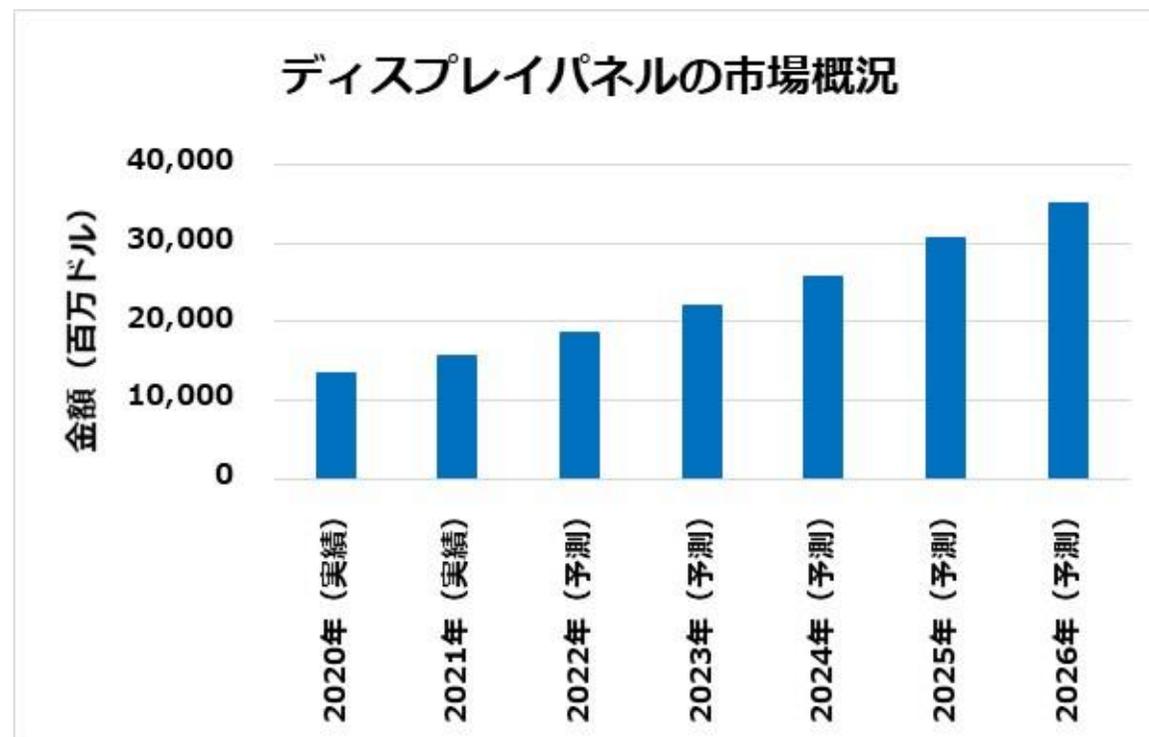
汎用シリカと開発品の樹脂への分散性評価

## 高機能フッ化物（ナノ材料）

- 車載ディスプレイ用途も含めディスプレイの高機能化により材料開発が盛況
- 反射防止膜用途として屈折率1.35以下のフッ化物ナノ粒子分散液「**CNP-P**」を開発  
→ユーザー評価でフィードバックのあった課題解決に向けた研究を推進中



開発品「CNP-P」



出展：2022 タッチパネル/フレキシブル&車載ディスプレイと構成部材市場の将来展望



(製品情報)

## 光学材料関連

- ◆フッ化カルシウム
- ◆フッ化アルミニウム
- ◆フッ化リチウム
- ◆フッ化ストロンチウム
- ◆フッ化バリウム
- ◆フッ化マグネシウム
- ◆フッ化鉛

## 反応触媒関連

- ◆高純度三フッ化ホウ素
- ◆三フッ化ホウ素n-ブチルエーテル
- ◆三フッ化ホウ素モノエチルアミン
- ◆三フッ化ホウ素エチルエーテル
- ◆三フッ化ホウ素テトラヒドロフラン
- ◆三フッ化ホウ素ピペリジン
- ◆三フッ化ホウ素メチルエーテル
- ◆三フッ化ホウ素フェノール
- ◆トリエチルアミン・3HF

## 表面処理・代替フロン関連

- ◆無水フッ化水素酸
- ◆55%フッ化水素酸

## 原子力関連

- ◆<sup>10</sup>B濃縮ホウフッ化カリウム
- ◆<sup>10</sup>B濃縮ホウ酸

## その他製品群

- ◆ケイフッ化水素酸
- ◆ケイフッ化カリウム
- ◆ホウフッ化水素酸
- ◆ホウフッ化スズ
- ◆ホウフッ化銅
- ◆ホウフッ化鉛
- ◆ホウフッ化亜鉛
- ◆ホウフッ化ナトリウム
- ◆ホウフッ化カリウム
- ◆酸性フッ化アンモニウム
- ◆フッ化ナトリウム
- ◆フッ化カリウム
- ◆フッ化ジルコニウムカリウム
- ◆フッ化チタンカリウム
- ◆精製フッ化カルシウム
- ◆六フッ化リン酸カリウム

## 新規開発品

- ◆薬液ライフタイムの向上に貢献する洗浄剤
- ◆シリコン・ポリシリコンのダメージを抑制した洗浄剤
- ◆電池関連 (イオン液体・ナトリウムイオン電池用電解質・リチウムイオン電池用添加剤)
- ◆各種フッ化物ナノ粒子/分散液 (マグネシウム・リチウム・イッテルビウム・カルシウム・CNP-P)
- ◆蛍光体材料関連
- ◆原子力関連
- ◆5G・6G (移動通信システム)、プリント基板関連
- ◆特殊用途無機フッ素化合物
- ◆シリコン窒化膜のエッチングを抑えた洗浄剤
- ◆フッ素化カーボンナノチューブ



※詳細はホームページにてご覧ください。

## 街のなかでもステラケミファ



## 家のなかでもステラケミファ



## 病院のなかでもステラケミファ



## 学校のなかでもステラケミファ





(HP URL)

ブルーエクスプレス株式会社

### 運輸事業

輸送	陸上輸送・海上輸送・鉄道輸送
通関	輸出入の通関手続き・輸出入貨物の出荷引取り業務
倉庫	最新システムを満載した〔複合機能倉庫〕を提供
コンテナサービス	ISO仕様の大型圧力容器、IBCサイズの中型圧力容器、UN仕様 IBCコンテナ等を提供するほか、それらの洗浄、整備およびリース等

通関拠点	輸送拠点	海外拠点
本社事務所	仙台営業所	シンガポール
大阪事務所	関東営業所	中国
横浜事務所	横浜営業所	
	清水営業所	
	名古屋営業所	
	本社営業所	
	神戸営業所	
	北九州営業所	



## 保有車両 (2023年2月末現在)

- トラクター (142輛)
- トレーラ (364輛)
  - 20Fシャーシ
  - 35Fシャーシ
  - 40Fシャーシ
  - コンテナ専用シャーシ
  - ウィングセミトレーラ
- タンクトレーラ (10輛)
  - タンクトレーラ
  - ガスタンクトレーラ
- ウィング車 (6輛)
- 温調車 (4輛)
- 平ボディー車 (12輛)
- コンテナ専用車 (18輛)
- タンクローリー (19輛)
  - 専用ローリー
  - ガスローリー
- タンクコンテナ (516輛)
  - ISO【テフロンライニング】
  - ISO【保温】
  - JRコンテナ【テフロンライニング】
- ポータブルタンク (24輛)

## 車両タイプ一覧



## 企業価値向上に向けた取組み

### 1. 収益性を重視した取組みを推進

- 廉価取引を見直し：コストに見合った料金改定や、取引そのものの見直しを進める
- 新規案件の獲得：引き合いへの積極対応、既存荷主への深耕、他部署との連携等による

### 2. 安定的事業基盤の構築

- 年齢構成を見ながら将来を見据えて採用し、管理者・幹部社員を計画的に育成
- 外部研修を活用しての技術習得や、資格取得を推進
- ニーズに合わせて、タイプ別の車両・容器を確保

### 3. コンプライアンス体制の継続強化

- ドライブレコーダー、デジタルタコグラフの活用や運行管理業務の見直し等により、危険運転や過重労働の防止を徹底
- 社員教育の充実、関連法規の理解の促進等

### 4. 物流の2024年問題に対応

- 2024年4月に厚労大臣告示（自動車運転者の労働時間等の改善のための基準）の改正に向けた体制の整え

## TOPICS

①本社大浜営業所 本社社屋建替え



本社社屋を本社大浜営業所敷地東端に建替え、  
本社大浜営業所敷地を効率的に運用する。  
(2023年8月完成予定)

②北九州営業所 トップリフト導入



ISOタンクコンテナの積み下ろしや蔵置を当営業所の駐車場  
で行えるようにトップリフターを導入済(2022年4月)